

「今の政治、選挙で変えよう！清瀬市民連合」は下記の抗議文を自民党と公明党にFAXしました。

自由民主党 総裁 岸田文雄様
公明党代表 山口那津男様

「敵基地攻撃能力（反撃能力）」の保有を盛り込んだ「安保3文書」の改訂は、これまでの専守防衛から憲法違反、国際法違反の「先制攻撃」に踏み込むものであり断じて許されません。閣議決定に抗議すると同時に撤回を求めます

日本が、仮想敵のミサイル基地およびその発射を指令する中枢機能（つまり首都）をミサイル攻撃する能力を保有することは、明白な憲法九条および国際法違反となる先制攻撃に踏み込んでしまう可能性をはらむ重大事です。

また一貫して「専守防衛」の範囲内で抑制的に安全保障政策を組み立てることで、戦争を回避し戦火を決して拡大させない「平和国家」として存立するという、戦後日本の国是を根幹から破壊するものであり、断じて許されることはありません。

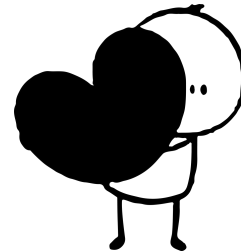
「敵基地攻撃能力」を保有することは、ただ単に憲法をないがしろにする暴挙というだけではありません。底なしの泥沼のような軍事費の増大によって暮らしと経済を脅かす軍拡競争を加速させる上に、結局、戦争を誘発した結果、相手側のミサイル基地を全て破壊できるはずもなく、報復的なミサイル攻撃を正当化する口実を相手側に与えます。これは日本の被害をより甚大なものとしてしまうことに他ならず、国民の生命、自由および幸福追求権を守るはずの防衛政策としてもまったく機能しません。いま必要なのは、地域的安定をめざす柔軟で強力な外交努力です。断じて、「敵基地攻撃能力の保有」を含む「安保三法案」は認められません。

2022年12月26日

今の政治、選挙で変えよう！ 清瀬市民連合
代表 小林二男 池田いづみ

2022年12月26日

「みんなが主役」市民の会 一夢をカタチにー 代表 有原誠治



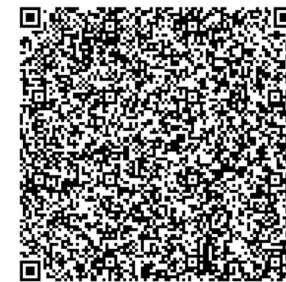
すでに自民党、公明党は敵基地攻撃能力の保有を閣議決定で決めてしまいました。

ご存知のように、日本は1945年大日本帝国憲法の下で太平洋戦争を起こした結果大敗戦をし、反省しそれまでの生き方とは真逆の戦争放棄の生き方を選びました。

しかし、今日、それとはまったく逆の法律、自分から戦争を仕掛ける可能性のある「敵基地攻撃能力」をほとんど国会での議論もせず閣議決定しようとしています。これは間違いなく再び戦争をする80年前の憲法の世界に戻るものです。

皆さん、どうぞ自民党、公明党にFAXを送って抗議してください。

ZOOMお茶会やります！



気になるニュースの話など、
時事系おしゃべり会
やります！
参加してくれる方は
←こちらの
QRコードから！

2023年1月22日（日）
19:00-